北海道
中標津町

空と緑の交流拠点

観光
パンフレット

ここだけの景色

QRコード

(一社)なかしべつ観光協会

開陽台は日本一の酪農地帯といわれる根釧原野より、知床連山武佐岳の裾野につながる、標高270メートルの小高い丘陵です。

中標津町長として三代目の尾崎豊町長は昭和36年にNHKテレビ中継局が開陽台に設置され開局の式典を行った際、見晴らしの良いこの地に目をつけて開陽台と命名し観光地として開発を行いました。

現在では観光ルートの人気スポットとなり、知床観光の玄関口としても知られており、全国でも珍しい地平線から日の出を見る事のできる場所で、冬期間は地平線から登る太陽を撮影する為多くのカメラマンが訪れます。

この開陽台は北根室の中心、中標津の市街より約15㎞に位置し、展望台からは「地球が丸く見える、視界330度の眺望」として豊かに広がる牧場、北海道遺産に登録された格子状防風林、そして遥か北方領土<国後島>までも一望できます。

また、忘れてはならないのは“聖地”として北海道を旅するライダーたちに呼ばれていることでしょう。

ライダーたちはここを拠点に知床の自然を満喫しているのです。

変形太陽

標高270mのパノラマ 開陽台

ミルクロード

北海道遺産「格子状防風林」

北海道に開拓の鍬が入り、中標津町・別海町・標津町・標茶町の4町にわたり植林が行われた面積は15,708ha。林帯の幅は180mで、1辺3㎞の格子が延々と広がり、最長直線距離は約27㎞総延長約648㎞となっています。

この格子状防風林は、厳しい気候から農作物を守る効果や、暴風雪を和らげる効果など人の命さえ守っていることが認められ、現在の形をとどめています。北海道開発の長い歴史の中で人間が創りだし守り育ててきた産業遺産であり、自然遺産でもあります。

中核都市でありながら

開湯100年の歴史
養老牛温泉

標津川上流の深い森に囲まれた原生の自然の中の「養老牛温泉」。川のせせらぎの音、幾種もの野鳥のさえずり、森のアロマテラピーと相まって、自然界に包み込まれて癒される野趣性に富んだ環境から、仙境と呼ばれている秘湯中の秘湯です。

湯宿だいいち

旅館藤や

ホテル養老牛

温泉が楽しめる市街地のホテル

トーヨーグランドホテル

マルエー温泉

マルエー温泉俵橋

保養所温泉旅館

北ホテル

日本唯一の酪農ロングトレイル

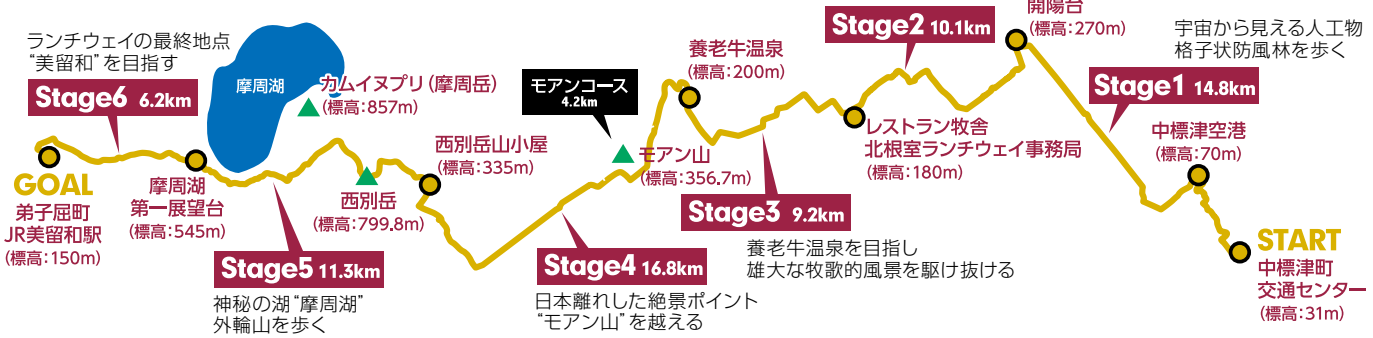
中標津から酪農地帯を貫き、開陽台、モアン山を抜け摩周湖外輪山経由、JR美留和駅までの71.4kmのトレイルコースです。西別岳登山口から摩周湖第一展望台までの既存の登山道は歩行可能です。公共の交通機関に接続できる「歩く道」をめざしてます。A・K　WAY（網走―釧路間の歩く道）と摩周湖の山麓で合流します。

大自然の恩恵を受ける中標津

中標津町の秘境の一つ。入口（駐車場）から滝までの所要時間は約1時間（3km）
沢歩きの装備が必要です。滝の落差は約25m その景色はまさに大迫力。

クテクンの滝

中標津の恵まれた大地から生まれた特産品



煌めく提灯。その数、6,000個!

QRコード

中標津町イベントの
スライドショー

なかしべつ冬まつり

じゃがいも伯爵まつり

なかしべつ夏祭り

まちなか賑わい秋の陣

なかしべつ330°
開陽台マラソン

東京から100分、札幌から60分
日本最東端の空港

北の大地でお試し暮らし

観光地に囲まれた暮らしやすい町「中標津町」。商業施設や医療機関も充実し町全体に活気があります。そんな中標津町の住みやすさを日常生活を通して実感するために、ホテルや旅館とは一味違う「お試し暮らし」ができる施設を用意しています。北海道の大自然の中で、まるで自分の家にいるような心地よい生活をサポートします。

QRコード
中標津町移住計画

私立医療機関も充実

石田病院

こどもクリニック

古野医院

富沢内科医院

中標津眼科クリニック

中標津脳神経外科

大野整形外科

広大な大地と牧歌的な風景、日本最東端の「中標津空港」。

中標津空港から半径約100km以内に知床国立公園、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園、網走国定公園、野付風連道立自然公園、厚岸道立自然公園、斜里岳道立自然公園があり、観光地への玄関口として利用されています。

また、根室～中標津経由～札幌間を8時間で結ぶ都市間深夜バスも運行しており、重要な交通手段として利用されています。

中標津空港から市街地まで、車で5分。

中標津空港

中標津空港1Fロビー

国内唯一の大規模木造建築の空港ターミナル

知床ゴルフクラブなかしべつコース

中標津町自動車学校

中標津交通センター

QRコード

道立ゆめの森公園

道立ゆめの森公園

中標津空港に隣接しており、パークゴルフ場や屋外遊戯施設の設備、旧滑走路を取り入れた空港的整備、冬でも遊べる全天候型施設です。

最大級の自然を満喫

QRコード
根室観光連盟

QRコード
ひがし北海道観光事業開発協議会

世界自然遺産　知床

平成17年7月に世界自然遺産に登録された原始性の高い国立公園です。オジロワシ、シマフクロウ、ヒグマなどが生息し、秋にはシロザケなどが遡上します。

知床五胡、羅臼岳、ホエールウォッチングなど魅力満載です。

尾岱沼の白鳥

撮影者　石井輝章

根室海峡
国後島とマッコウクジラ

中標津空港から観光地への距離と時間

野付半島	摩周湖	川湯温泉	屈斜路湖	羅臼町
43km	63km	66km	68km	73km
45分	72分	73分	75分	82分

知床峠	阿寒湖	ウトロ	釧路市	納沙布岬
87km	92km	97km	102km	127km
104分	100分	117分	113分	137分

道道の速度設定は時速50km/hを基本に、付近の国道の平均時速を加味して算出しています。

ひがし北海道観光

摩周湖　中標津町から57km、湖面は海抜351m、周囲約20km、面積19.2平方キロメートル、最深211.4mの世界一級の透明度を誇るカルデラ湖は多くの訪れる人々を魅了します。

屈斜路湖　中標津から64km（和琴）で日本最大級のカルデラ湖、屈斜路湖。砂場を掘ると温水が湧き出る砂湯と露天風呂付きのキャンプ場がある和琴が人気。

標津町サーモンパーク

約30種類のサケ科魚類が展示してあるサーモン科学館は、サケの一生を紹介する映像室や、シロザケ、カラフトマスなどが泳ぐ大水槽などがあります。

野付半島

全長およそ28キロにも及ぶ細長い半島で、先端付近には一周約15分ほどの木道遊歩道がありそこからは原生花園やハマナス群生地、トドワラやナラワラなどの立枯れている独特な風景が見られます。

西竹山
(698m)
標津岳
(1,061m)
サマッケヌプリ山
(1,062m)
開陽台
(270m)
南斜里岳
(1,442m)
ソーキップ岳
(1,026m)
俣落岳
(1,003m)

中標津町 市街地マップ

<開陽>
開陽台展望台
開陽台牧場
ミルクロード
20
至 開陽台
中標津空港
69
道立ゆめの森公園
緑ヶ丘森林公園
833
<養老牛>
505
養老牛温泉
5
9
3
養老牛温泉浄化センター
運動公園
丸山小
中標津中
温水プール
武道館
体育館
中標津町役場
69
消防署
丸山公園
末広公園
町営球場
雪印メグミルクなかしべつ工場
18
8
4
6
10
中標津小
中標津警察署
2
14
19
12
13
バスターミナル
総合文化会館
中標津郵便局
中標津高
中標津東小
272
13
至 計根別
<計根別>
22
計根別郵便局
計根別中
505
JAけねべつ
中標津農業高
833
8
町立病院
東武サウスヒルズ
至 別海町
農業試験場

ハイヤー	
日 東 交 通 ㈱	☎0153-72-3231
北都ハイヤー㈱	☎0153-72-1222

レンタカー	
オリックスレンタカー中標津店	☎0153-72-8489
タイムズカーレンタル中標津空港前店	☎0153-72-5656
道東レンタカー㈲	☎0153-73-3443
トム・ソーヤレンタカー	☎0153-73-5715
トヨタレンタリース釧路㈱中標津空港店	☎0153-78-8100
日産レンタカー中標津空港前営業所	☎0153-73-5703
ニッポンレンタカー中標津空港前営業所	☎0153-72-0919
北武レンタリース㈱	☎0153-72-8333

バ ス	
旭 観 光 バ ス ㈱	☎0153-73-5151
阿寒バス㈱中標津営業所	☎0153-73-4370
根室交通㈱中標津案内所	☎0153-73-4456
中標津町有バス	☎0153-73-3111

観光案内所	
中標津町観光案内所	☎0153-73-4787
(一社)なかしべつ観光協会	☎0153-73-3111
中標津空港観光案内所	☎0153-73-5651

QRコード
中標津旅館組合

宿 泊 施 設		
①	中標津保養所温泉旅館	☎0153-72-0368
②	HOTEL Biz INN	☎0153-72-2107
③	湯宿だいいち	☎0153-78-2131
④	ホテル秀月	☎0153-72-2254
⑤	旅館藤や	☎0153-78-2341
⑥	ビジネスホテルさとう	☎0153-72-2852
⑦	トーヨーグランドホテル	☎0153-73-1234
⑧	ホテルマルエー温泉	☎0153-73-3815
⑨	ホテル養老牛	☎0153-78-2224
⑩	ホテル開陽イン	☎0153-72-2278
⑪	ビジネス旅館白川	☎0153-72-3698
⑫	遠藤旅館	☎0153-72-2366
⑬	山洋旅館	☎0153-72-4101
⑭	ビジネスホテルマルワ	☎0153-72-4271
⑮	ホテルマルエー温泉俵橋	☎0153-78-7888
⑯	北ホテルなかしべつ温泉チロロの湯	☎0153-73-2807
⑰	ペンションフォルメン	☎0153-72-7727
⑱	ビジネスホテル藤	☎0153-72-3113
⑲	見晴荘	☎0153-72-2525
⑳	民宿地平線	☎0153-74-2262
㉑	旅人の宿 なかしべつミルクロード	☎0153-74-2109
㉒	民宿風まかせ(4月~12月のみ営業)	☎0153-78-2199

スポーツ施設の充実

QRコード
中標津町体育施設

運動公園サッカー場

運動公園スケートリンク

運動公園ラグビー場

武道館

温水プール

Nakashibetsu
Kawasaki

QRコード
中標津町

QRコード
川崎市

北海道
中標津町

面積／685㎢
人口／24,130人
（平成26年5月現在）

神奈川県
川崎市

面積／142.7㎢
人口／1,457,315人
（平成26年5月現在）

文化をはぐくむ

すべての町民が生涯を通じて豊かな生活を送れるよう、教養を高め、自発的に学習できるよう行政や各種団体等の参画による生涯学習の推進をしています。

明日を担う子どもたちのために、恵まれた自然環境のもと、人間性豊かな青少年を育て、国際化・情報化・技術革新の時代に対応できるよう、安心・安全で使いやすい施設の整備を進めています。

QRコード
中標津町
総合文化会館

中標津町総合文化会館　しるべっと

中標津町図書館

QRコード
中標津町図書館

中標津町郷土館

北海道中標津高等学校

北海道中標津農業高等学校

北海道中標津高等養護学校

友好都市との交流
～神奈川県川崎市～

平成四年七月、友好都市協定を結びました。川崎市は、人口約一四〇万人の先端産業都市で、プロサッカーチーム川崎フロンターレの本拠地があることでも有名です。

交流の内容は、お互いのイベント参加、青少年のスポーツ交流、キャンプ交流、町内会交流などをはじめ、学校の視察研修や産業の見学など幅広い交流となっています。

地域を支える商工業

QRコード
中標津町商工会

根室内陸の中心という恵まれた立地条件にあり、商圏人口は約六万人。大型店や中小の店舗が立ち並び、この規模の町としては道内トップクラスの年間商品販売額を誇り、町に活況を与えています。

また近年、外食産業は大手ガイドブック北海道の特別版に紹介される店が数多く点在しており、グルメ激戦区の様相を呈しています。

雪印メグミルクなかしべつ工場

そば畑

酪農王国

搾乳風景

本町の基幹産業となる酪農業は、広大な土地を生かし、大規模草地酪農地域として発展し、一部の農家は馬鈴薯を主とする畑作経営を取り入れています。酪農は各種基盤整備事業の導入や飼養管理技術の改善などにより多頭化を進め、乳用牛飼養頭数は約三万九千頭、一戸当たり平均は百頭に達しています。

また、本町で生産される牛乳の乳質は、日本のトップクラスを誇り、農産品も、雪印メグミルクなかしべつ工場で作られているゴーダチーズなどの乳製品をはじめ、恵まれた自然環境から生まれた逸品が揃っています。

中標津町
牛乳消費拡大
応援条例

通称「牛乳で乾杯条例」国や自治体では日本酒やワインなどの乾杯条例制定が進んでいるなか、中標津町では平成26年４月に制定されました。

じゃがいも畑

QRコード JA中標津

QRコード JA計根別

総合児童センター完成予想図（平成27年3月完成予定）

中標津りんどう園

中標津りんどう園は、身体的又は精神的に著しい障がいを持ち、日常生活において常時介護を必要とする方に入所していただき、家庭に代わってお世話をし、健康で明るく楽しい生活を送っていただくことを目的としています。

中標津りんどう園 広域ユニット型特別養護老人ホーム

医療と福祉

町立中標津病院

QRコード
町立中標津病院

すべての人が健康で明るく豊かな生活を送ることは、町づくりの基本です。

町民の健康への感心を高め、一人ひとりの自主的で日常的な健康づくりを実践していくため、健康についての学習啓発に努めています。

医療施設は数多く、町立病院のほか民間の内科、整形外科、眼科、小児科、産婦人科、脳神経外科の医院、歯科医院があります。

町立中標津病院は、「地域周産期母子医療センター」の認定を受け、安心して子どもを生み育てる環境づくりと、地域に必要な医療体制の充実に努めています。

また、重篤な救急患者の救命率向上や後遺症の軽減を目的として、ドクターヘリが運航しているなど、安心して生活を送ることができます。

ドクターヘリ

町立中標津病院前の町有地にドクターヘリの離発着場があり、根室、釧路管内をエリアとして平成22年10月から運航が開始されています。

ヘリポートの完成により通年利用が可能になり、救急医療への大きな効果が表れています。

保健センター

QRコード
中標津町保健センター

先人たちの足跡

昭和50年　中標津観光祭りパレード

大正14年　厚床・中標津間に開通した殖民軌道

入植地に向かう開拓者

元禄13年　松前藩から江戸幕府に呈上された元禄御国絵図に「ちべ内」と記入されたのが標津の地名が子文書に表された初めだった
明治19年　根室原野植民地解放のための現地調査が行われた
明治34年　中標津原野が植民地として区画設定された
明治44年　乾定太郎を団長とする徳静団体（十三戸四十人）が移住し、初めて開拓の鍬が入った
大正14年　殖民軌道（厚床・中標津間）開通
昭和8年　「根釧原野農業開発五ヵ年計画」が樹立された
昭和12年　国鉄標津線が全線開通となり交通の要衝となった
昭和21年　当時の標津村から分村し、中標津村が誕生した（分村時の人口は九千九百四十三人）
昭和25年　分村後、わずか三年余にして町制を施行し、中標津町となった
昭和26年　中標津市街の上水道が完成した
昭和30年　別海村から豊岡・協和両地区を編入
昭和34年　北日本航空が中標津・札幌間の定期飛行開始
昭和36年　中標津市街地の地番改正、条丁目制となる
昭和37年　開陽台観光開発着手
昭和40年　阿寒バス中標津出張所開設
昭和41年　開町二十周年・空港開港記念式
昭和42年　全国町村会から優良町村として表彰される
昭和45年　国営開拓パイロット春別（俵橋）地区入植開始
昭和46年　中標津高校ラグビー部が国体に初出場
昭和49年　町自動車学校が開校
昭和50年　国道２７２号線全線開通
昭和52年　下水道事業着工
昭和55年　開町三十周年記念式
昭和60年　町の人口が二万人を突破
平成元年　中標津・千歳間にＹＳ11型機就航
現在の役場庁舎が新築された
下水道供用開始
ＪＲ標津線廃止お別れ式
新空港が供用開始
平成2年　中標津高校野球部が甲子園に初出場、初の町民栄誉賞
平成4年　川崎市と友好都市締結
平成5年　国道２７２号バイパス完成
平成7年　開町五十周年記念式典
総合文化会館がオープン
平成9年　中標津空港開港三十周年式典
平成10年　中標津空港２、０００メートルに延長供用開始
町の人口が二万三千人を突破
平成11年　中標津空港の年間利用客が二十万人を突破
新町立病院オープン
平成12年　中標津農業高校校舎増改築完成
平成13年　道立ゆめの森公園オープン
北海道遺産に「根釧台地の格子状防風林」（中標津町など）選定
平成14年　ごみ最終処分場（当幌地区）完成
平成15年　総合福祉センター「プラット」がオープン
運動公園のスケートリンクオープン
平成16年　丸山小学校バレーボール少年団全国準優勝
一万世帯突破　人口二万四千人
平成17年　中標津高校合唱部全国大会で金賞受賞
中標津町が羅臼町と合併することについての可否を問う住民投票（結果・否）
平成18年　中標津空港開港四十周年
平成19年　知床世界自然遺産に登録
町有施設の指定管理者制度開始
雪印乳業㈱なかしべつ新工場竣工
平成20年　上武佐地区の北村家住宅主屋（旧土田旅館）が当町初の登録有形文化財（建造物）に選ばれる
中標津空港ターミナル　リニューアルオープン
平成21年　ＦＭなかしべつ放送開局
なかしべつ３３０。開陽台マラソン開始
映画「釣りバカ日誌20ファイナル」のロケが当町を含む道東で行われる
平成22年　タワラマップ川親水広場完成
平成23年　中標津・丘珠便が廃止され、千歳便が復活
平成25年　中標津町共生型交流センター開設
中標津町牛乳消費拡大応援条例（牛乳で乾杯条例）可決
平成26年　中標津中学校野球部　中体連全国大会準優勝

QRコード
中標津町のあゆみ

平成２年　中標津高校甲子園初出場

昭和40年　中標津空港開港式

町民と共に作る行政

行政に対する町民の要望が複雑化・多様化する中で、行政は創意工夫をこらし、柔軟かつ迅速に対応することが強く求められています。

町では町民のみなさんと町政を進めていくために、広報・広聴業務の充実をはかるとともに、行政の事務事業の見直しや行政経費の節減など町民サービスの向上を基本としながら時代に対応した、柔軟できめ細やかな対応を心がけています。

役場庁舎

中標津町は、東経145度、北海道東部の内陸に位置し、知床から摩周、阿寒に連なる山々に守られ、標津川の流れに育まれてひらかれたまちです。

明治の末に始まった原野の開拓は、先人たちのたゆまぬ努力や助け合う心により、冷害凶作などの困難をのり越え、酪農地帯をつくりあげ、さらに、鉄道の分岐点となった市街地では、商工業の発展により、周辺から人が集まる中核的な都市へと進展してきました。

あらためてこのまちの風土や歴史を知り、次世代を担う子どもたちに胸を張って誇れる故郷を築くため、澄みきった空気、豊かな緑、きれいな水を守り、人と人とのつながり、人と自然との共生を理想とするまちにしていかなければなりません。

そのために、「みんなの力で明るい豊かなまちをつくる」という町民憲章を尊重し、自ら考え、行動し、決定することによる町民が主体の自治の実現を目指しています。

「中標津町自治基本条例（平成24年1月1日条例第1号）前文」より一部 抜粋・修正

昭和25年１月１日の町制施行を記念して、一般から公募した中から選び、制定されました。中標津町の中の字を中心にした３つの扇模様は、それぞれ片仮名で「シ」「ベ」「ツ」を図案化したものです。円は、町民の和衷協同を表すとともに、根室管内の中心地であることも意味しています。

食、歴史、北方領土との関わり、観光、自然、スポーツ、移住をテーマに、中標津町を紹介しています。　（映像時間20分）

QRコード
中標津町の紹介

町勢要覧資料編は、中標津町ホームページに掲載しています。人口統計、産業統計等様々なデータをご覧いただけます。
（PDFファイル2.9M）

QRコード
資料編PDFファイル

町民憲章

昭和40年７月１日制定

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく中標津の町民です。
はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

1　からだをきたえしあわせな家庭にしましょう

1　誇りをもって働き豊かなまちにしましょう

1　きまりを守り明るいまちにしましょう

1　自然を愛し美しいまちにしましょう

1　教養を高めよりよい文化を育てましょう

緑の交流拠点

Exchange offices and green sky

町の花
エゾリンドウ

昭和52年に中標津町の町花に指定されました。
９月から10月にかけて紫色の美しい花を咲かせる多年草です。

町の木
白　　樺

開拓の当初、夜の明かりや開拓小屋の建材として利用されていました。
開拓の歴史と町内各所に密生しているため昭和44年に「町の木」に指定されました。

北海道

NAKASHIBETSU

中標津